参考資料１

◇特定事業計画のイメージ

1．公共交通特定事業

1）鉄軌道

基本構想の実施時期凡例

◆実施時期について

特定事業の実施時期は以下のとおりです。

短期：令和３～７年度

中期：令和８～12年度

長期：令和13年度以降

表記の例

（例）継続的に実施していく事業

短期	中期	長期
	継続	

（例）長期的に実施する事業、又は検討する事業

短期	中期	長期
■	■	■

（例）中期までに実施する事業

短期	中期	長期
■	■	

特定事業計画の具体的な実施期間凡例

	予定実施期間
	継続的に実施するもの（期間全体を塗りつぶす）
	実施時期未定（期間全体を塗りつぶす）

基本構想ページ	▲▲		
対象施設	○○○○	事業主体	△△△

R4地区別基本構想（JR/京成稲毛地区）で定めた事項（変更不可）						特定事業計画											③特記事項（実施に向けた課題・現在の状況等）
番号	項目	特定事業	基本構想で定めた実施時期			①具体的な事業内容（場所・規模・数量・方法等）	②具体的な実施期間										
			短期	中期	長期		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～	
1	ホーム	ホームドアや可動式ホーム柵、又は内方線付点状ブロックを設置する。	■	■		国・自治体との協議を進め、事業化に向けて検討を進める。											国・自治体との補助金協議の整理が必要。
2	人的対応・心のバリアフリー	人的サービスが必要な方に対し、駅社員等による案内やサポートなどの対応を充実。		継続		券売機やトイレ、インターフォン等の聴覚障害者による呼出時における腰付け対応をマニュアル化する。各職員が筆談具を携行する。											令和4年●月現在、サービス介助士取得者○○名

地区別バリアフリー基本構想の特定事業内容【第5章】を掲載。

特定事業内容に加え、“具体的な実施内容（場所・規模・数量・方法等）”や“具体的な実施時期”などを、施設ごとに取りまとめ。

④特定事業の実施に必要な資金の額及び調達方法	ハード事業の実施については、事業実施の前年度に予算調整のもと調達を行う。
⑤その他、実施に際し配慮すべき事項、特定事業以外に実施する事項、参考写真等	写真 職員研修の様子

※従前の千葉市バリフリー基本構想に基づき特定事業計画を策定している施設設置管理者等においては、従前の特定事業計画の書式を活用して特定事業計画を整理することも可。

≪特定事業計画の公表方法≫ 特定事業計画の各調書を取りまとめた形で、本市ホームページ等へ掲載する。

千葉市バリアフリーマスタープラン【本編 P.103　8.1 市民及び関係事業者へのマスタープランの周知・啓発】

本マスタープランに基づく取組を推進するため、事業者説明会等を開催し、生活関連施設に設定した施設の施設設置管理者をはじめ、関係する事業者や庁内の関係所管へマスタープランの内容を周知していきます。

また、本マスタープランの進捗状況や、今後作成予定の基本構想、特定事業計画の内容など、バリアフリー施策の推進に関する情報を一元的にまとめ、市民に提供できるよう本市のホームページ等において情報公開を行います。